

のり海況速報 第10報 (26-10)

平成27年 2月 6日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 2/3：内湾(ふさなみ)、2/4：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(1/22-2/5)、東京湾口海況図(1/22-2/5)
 自動観測ブイデータ(1/22-2/5)、拓南観測データ(1/22-2/5)
 モニタリングポスト(2/3：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温(図1)は前回(1月19日)からほぼ横ばい状態となり、3日現在おおむね8~10℃台になっています。塩分はほぼ31~32台前半で、依然平年より高めです。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(図2)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近までは一様に分布しています。
- ・内房北部の表層水温はほぼ10~12℃台で、先月13日ごろから浦賀水道航路付近まで流入した沖合水(水温15℃前後)は弱まり、5日現在湾口部の水温は14℃台になっていますので、現状ではのり漁場への影響は少ない模様です。

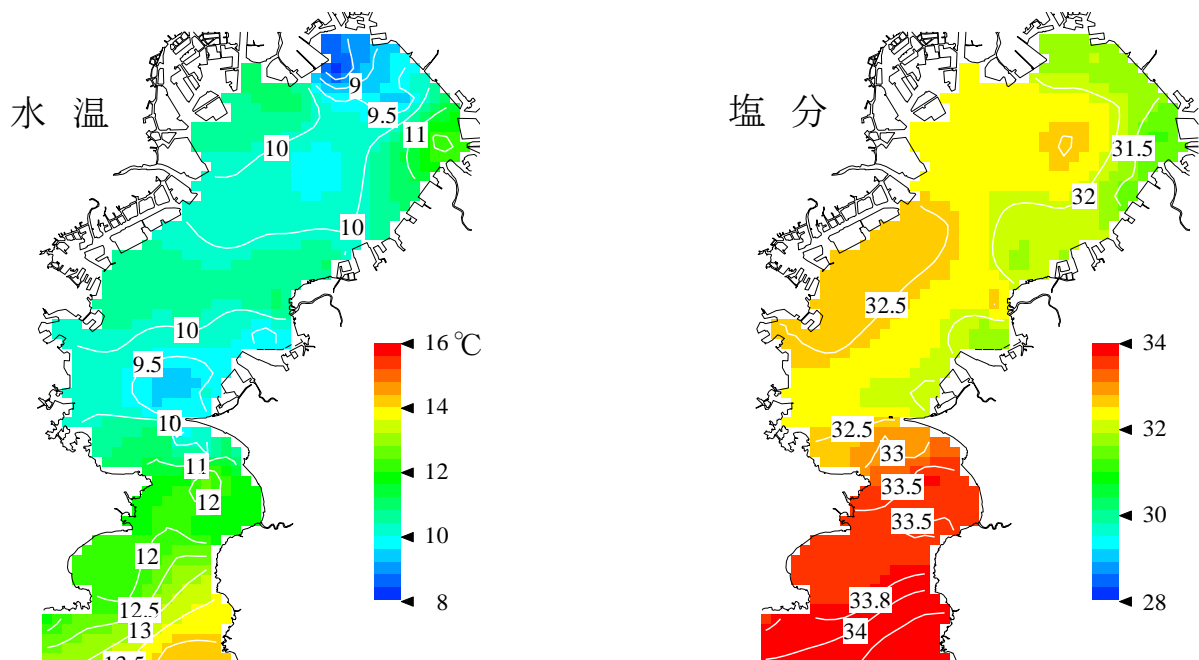


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年 2月 3-4日)

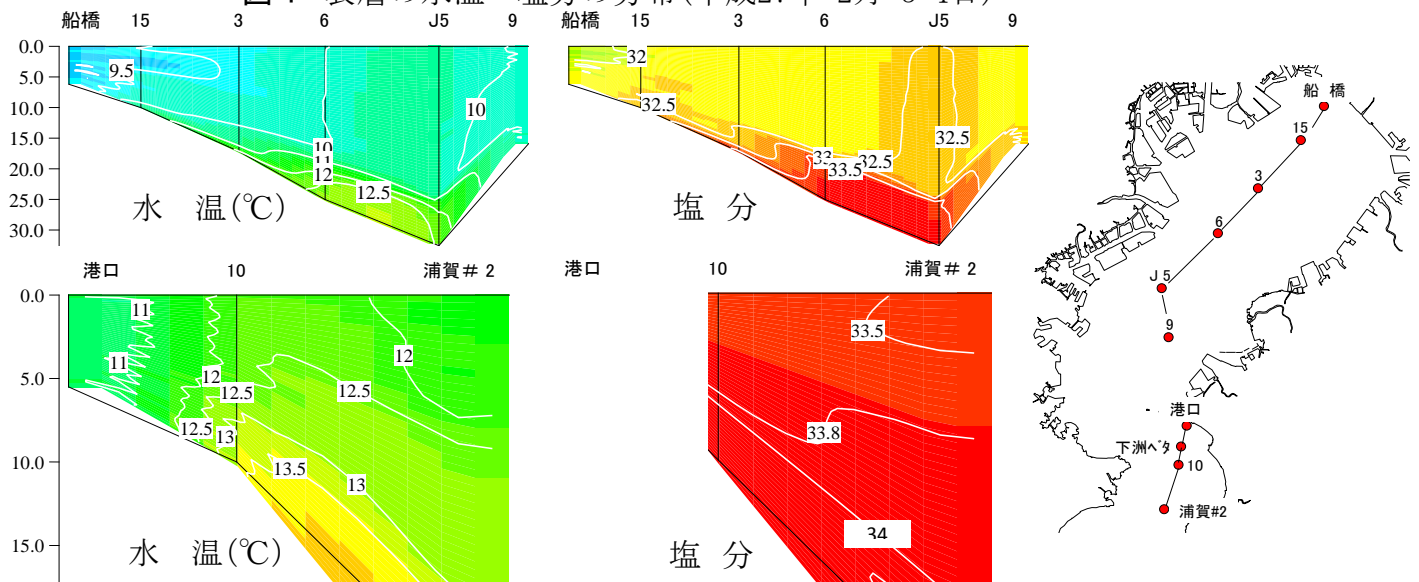


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年 2月 3-4日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮はほぼ内湾全域で発生し、千葉県側ではpH8.5～8.6に上昇、透明度は3m前後に低下し、水色もやや褐色を呈しています。
- 優占種はケイ藻のスケルトネマやタラシオシラで、ディチウムも多くみられています。
- 表層の栄養塩(図3)は窒素(D I N)・リン(D I P)とも前回(1/19-20)より少なくなり、盤洲周辺ではリンが顕著に減少してきました。現時点ではノリの色素低下が大きく懸念されるレベルではありませんが、この動きには注意が必要です。

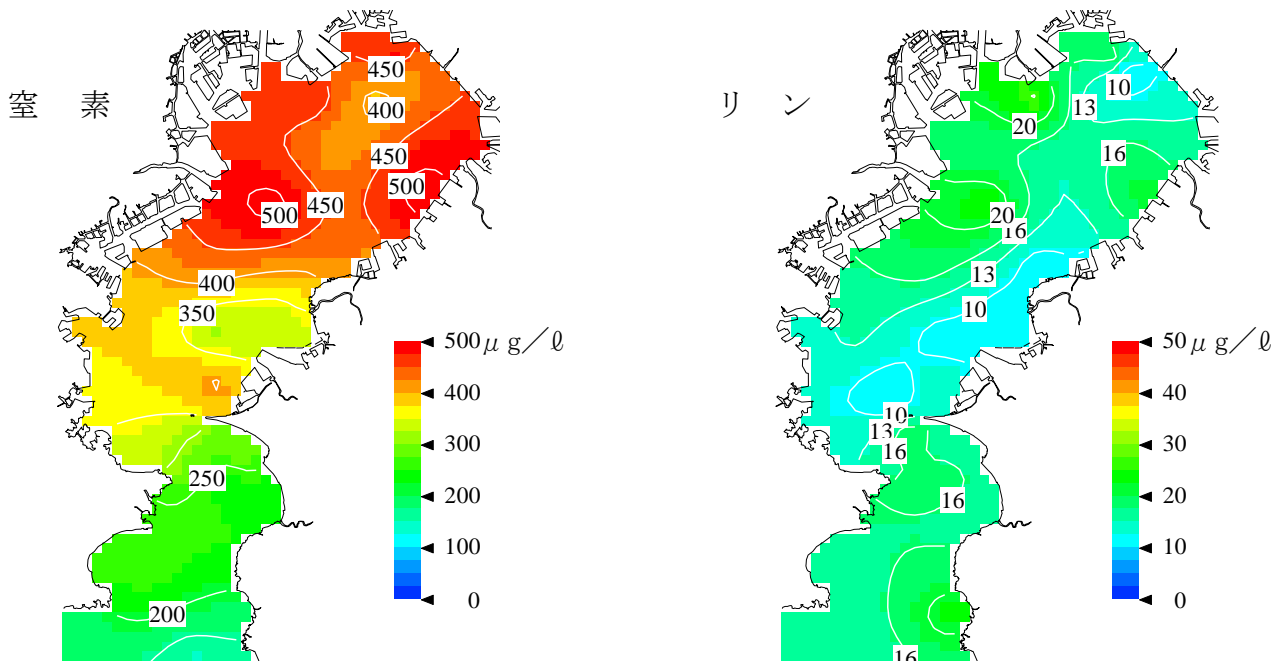


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年 2月 3-4日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン: http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbstuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯 : http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbstuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html